

「本づくり情報紙ゆるり」は、長崎市を中心とした
主なコミュニティ施設に配布されています。

制作/発行  株式会社 **昭和三和堂**

第6号
【冬号】

Yururi
Heartful salon

特集

文学にふれる旅 10頁

井上光晴

激動の時代を駆け抜けた全身小説家



自費出版体験記

私と本づくり

02頁

- 『欲張りの人生』前野士朗さん
- 『万里の風』中川美苗さん
- 『遺稿集 ひとりごと』正木幸子さん
- 『干瀉曼陀羅』渡邊謙二さん
- 『左手の手記』大塚敏郎さん
- 『遺稿集 佐世保市宮地区 歴史散歩』中島雄俊さん

“誌上”工場見学レポート

本づくりの現場 12頁

～編集編～

読者プレゼント 15頁 ゆるり書房出版協力の本をプレゼント!

自費出版
体験記

私と、 本と、 り

第6回

人生苦もあ りや 楽もあるさ。

感謝！感謝の78年

『欲張りの人生』前野 士朗さん

2005年11月13日発行



**自分史を作る
きっかけは？**

子どもや孫に、私が若い頃の苦労話やあれこれ話したすと、きまつて「ええ〜！またその話!」と疎んじられるんですよ（笑）。
それなら本にして、いつでも子どもに親父の生き様を知ってもらい、これからの人生をより豊かに生きるための参考書とまではいかないにしても、何かの役に立てればなあと、思いついて始めたんです。

**タイトルに
込められた想いは？**

少年時代の軍隊生活から始まり、本当に激動の78年でした。当時は生きていくことに必死でしたが、今こうして振り返ると、ああ、苦もあれば楽もあつた、そのすべてを経験できたことは文字通り「欲張りな人生」だったんだなあと思うんです。
周囲からの反響は？
「こんなに4冊になった自分史など、見たことがない!」と言われ、小さな頃からのエピソードを良く覚えてますねと言われました。
これを手にとられる子どもさんやお孫さんへのメッセージ。
企業一筋で生きてきた50年、

子育ては常に妻にまかせきりでした。子どもたちが幼い頃に抱きしめることをしてあげられなかったのがずっと心残り、その反省もあつての出版です。だからこの本が出来た今、改めて私の人生を子どもに知ってもらって、思いっきり抱きしめてあげたいですね。

**ところで前野さんは
水戸黄門が大好きだとか？**
ええ、単純なストーリーではありますが、昔から大好きな番組です。だって明快でしょう。悪い者がしつかり懲らしめられる、道理が通る。最近こんな番組少ないような気がします。それに、苦もあれば楽もある、まさに私の人生そのものだなあと（笑）。

最後に読者へメッセージを。

今の世の中、水戸黄門のように明快にはいかな時代。子どもたちへの将来への危惧もあります。子どもや孫たち、この本を手にする皆さんに、私が生きてきた時代を知ってもらって、苦も楽も、人生の糧として、欲張りに生きてもらえたら嬉しいですね。

取材中は終始笑いが絶えず、楽しいひとときを過ごさせていただきました。ゆるりでは数多くの自分史を手がけさせていただいていますが、前野さんのような全4編に亘るほどの欲張りな超大作は初めて、5刊、6刊とこれからも楽しみにしています。



サイズ:A判変形
頁数:196ページ
製本:上製本・
カバー付き



第二のふるさと 大連・新京。

15歳まで中国で育ち
戦中・原爆・戦後と激動の中を生きて
喜寿記念に出版された歌集

『万里の風』中川 美苗さん

2005年3月1日発行

今回第20回長崎県 文芸協会賞を受賞され、 おめでとうございます。

これまでにも数々の賞を受賞
されていますね。

ありがとうございます。

ありがとうございます。今
までには、長崎総合短歌大会
で日本歌人クラブ賞、原爆忌
文芸大会で長崎県知事賞、鎮
西大社諏訪神社献詠祭三年連
続入選です。個人で出版した
のは、今回初めてでしたので、
嬉しうございます。

この本は、昨年3月に出版さ
れましたが、きつかけは？

昭和十八年に満鉄長崎支社
に父が転勤となるまで私は大

短歌は、いつ頃から
始められたのですか？

母もよく歌を詠んで居りま
したが終戦後、大分に帰り金
子薫園先生と親しかった伯母
の歌会に入会したのがきつ

連と新京で十五歳まで育ちま
した。本籍は大分ですが中国
は第二のふるさとです。長崎
では学徒動員、原爆、終戦と
激動の中を生きてまいりまし
た。戦中、戦後を生きて来た
証としてまた喜寿の記念にも
と出版いたしました。

現在の活動は？

今は、あすなる同人・水鏡
準同人・日本歌人クラブ会
員・純林に所属しております。
県文芸、NHK、其の他出し
たりして居ります。

中川さんにとって短歌とは？

喜びや悲しみ、感動した時

四季折々あるがままに歌を詠
んでいますから、私の人生そ
のものです。

最後に今後の出版予定は？

出来れば、歌や詩や、エッ
セー等をまじえて自分史を書
いて見たいと思つて居ります。
傘寿も近くなりましたので戦
前、戦中、戦後をまとめたい
と思います。

「万里の風」を出版した年の秋に、
北京に行かれ、万里の風の本を
持って万里の長城にお里帰りして
来られたそうです。写真は、その時
撮影され、秋雨が降っていたそうで
す。(中国の雨合羽を着用されてま
すね)
是非、次回は傘寿記念の出版に
向けて、頑張ってください。

万里の長城



吾が本の「万里の風」を持ちて立つ
里帰りせり八達嶺に

サイズ:B5判
頁数:194ページ
製本:上製本



故 正木幸子さん

この度、出版された本は、お母様の遺稿集ですよ。
はい、母が16年の12月に亡くなりまして。母は、女手一つで、私を育ててくれて、私が

結婚してからは、平戸ですつと一人暮らしをしております。本当は、生前に出してあげたかったのですが、私も日々の生活に追われてしまっ。それが、心残りです。

母の人生に尊敬と感謝の気持ちを。

亡くなった母の思い出を
一冊の本としてまとめた遺稿集

『遺稿集ひとりごと』正木 幸子さん

2005年12月5日発行

ケーシヨン手段として、毎月発行してきた家族新聞(1~58号)を載せています。

本を出版されると決まっからには、スムーズにいきましたか?

はい、出版日も、一周忌に合わせて

と決めておりましたので、装丁から文字の大きさや、入れる順番など、営業さんとゆるりのスタッフの方と相談しながら進め予定通りに出来上がりました。

周りの方の反応はどうですか?

様が、時折これを見て母のことを思い出してくだされば、母も喜んでくれると思います。

上製本で作成しましたので、作りが立派だと誉めていただきました。一周忌の法要の際にお配りしたのですが、すぐに目を通していただきました。喜んでいただきました。

本にされた内容は?

一つめは、500首ぐらい詠んでいた短歌の中から、母が自ら厳選していた61首を。

二つめに、新聞に投稿して採用掲載されたものなどの10編のエッセーを。最後に、離れている家族とのコミュニ

出来上がった本を手にした感想は?

そうですね、大げさですが一大事業を成し遂げたような気がします。本にすることで、母の生きた証としたいという気持ちと、お世話になった皆

母一人子一人で育ててこられた富永君代さんのお母様に対する愛情が伝わってくるインタビューでした。

享年81歳でなくなられた正木幸子さんの、几帳面さや、日々の生活の苦勞や楽しさなどが折り込まれた一冊になっています。

ゆるりを知られたのは?
母の思い出を本にしたいと思いい、たまたま手話の講師でお世話になっていきます純心大学の先生に相談しましたところ、昭和堂の営業の方を紹介されました。昭和堂さんは以

サイズ:B 6判
頁数:164ページ
製本:並製本



有明の海、 愛し訴えて...

滅びていった
小さな命への鎮魂歌

『千潟曼陀羅』

渡邊 謙二さん

2005年10月20日発行
定価 2,500円

多くの人が
命を落と
すなか、浅
い干潟のお
かげで助か

る人も多かったことを良く覚えて
います。多くの命をのみ
込むのも干潟、そして尊い命
を救ったのもまた干潟だった
…。自然の恐ろしさ、生かさ
れる命というものをまざまざ
と感じました。

そして数年後また干潟を訪
れた時、その美しい光景に心
を奪われ、当時の恐ろしさは
いつしか干潟への愛おしさに
変わっていました。それから
諫早に移り住み、干潟の歌を
詠むようになりましたね。

干潟と出会ったのはいつ頃から？
昭和32年の諫早大水害の当
時、私は県の総務部の地方課
に居て、当然水害の調査や救
済活動にあたっていました。

今回の出版が第3作目、 短歌を始められたのは？

中学校の頃からでしょうか。
学校帰りにみんなで集まって
句を詠み合ったり講評をした
りしていましたね。母に短歌
の手ほどきを受けて育ちまし
た。母が短歌の先生でしたね。

乾

くれなゐの干潟の華のヒチ
メンソウ 来年には消えむ
潟の死にては

乾

干潟のあらぬ異変にムツゴ
ロウ・ワラスボ 戸惑い潟
ふかくあむ

念

干潟返せ・海を返せのプラ
カード 旗押しきてて漁民
絶叫

**見出しは全て漢字1文字、
渡邊さんのさまざまな想いの
凝縮を見るようですね。**

そうですね、干拓に関して
は実にさまざまな問題が絡み
合い、難しい所です。ですが、
伝えたいのは目の前の干潟の

美しさ、干潟に棲むちいさな
ちいさな生き物への愛おしさ、
ただそれだけなんですよ。

**ご自宅には油絵や篆刻、そし
て陶芸作品など、実に多才な
一面をのぞかせる渡邊さん…。**

何かに心動かされたとき、
それを表現する手段はさまざま
です。歌を詠むことも、絵
も、篆刻も、そして陶芸も、
すべて、物事を多面的にとら
えること、だと思っております。

この作品でもそうですが、
干潟に対しての愛情や敬意、
恐れ、常に“多面”的な想
いを込めて詠んでいます。

最後にこれからの抱負を。

じつはまだ10年分の歌が
残っているんです。第4歌集
を作るのが今の目標。これか
ら有明の干潟を見つめ、ち
いさなちいさな命の叫びを訴



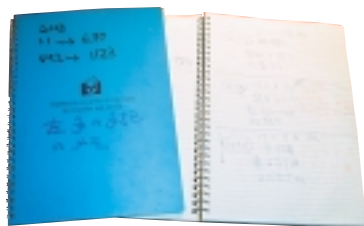
えて続けていきたいと思っ
ています。

小さな命が懸命に生きている、利
害も、イデオロギーも超えて…。
渡邊さんの歌は、まぎれもない母
なる干潟への愛でした。“有明”とは
月明かりがまだありながら夜が明
けてくる美しい音。干潟、そしてち
いさなちいさな生き物たちの夜明け
を願わずにはいられません。





何冊も書き溜めてある
作品ノート



サイズ:B6判
頁数:144ページ
製本:ガンダレ製本

デイ・ケアに掲示されている俳句

俳句を始められたきっかけは？
私が俳句を始めたのは、昭和48年に対馬支庁へ転勤したとき、同じ職場の先輩のお母さんが、地元の句誌の事務局長をされていた関係上、俳句を勉強することになったのです。五・七・五を書き散らしたノートをその句会（くちなし）に持参して、テストを受けたら合格しまして…。最初は、灰皿配りと投句用紙のガリ版切り、それと用紙の調達でしたけどね（笑）。それがきっかけです。



俳句とは「生きている証」。

辛い闘病生活を日記として綴り、
生き甲斐にもなった俳句集

「左手の手記」 - 闘病日記 -

大塚 敏郎さん

2005年9月9日発行



最初に出された「俳句で綴った自分史」「打水の夢」を出版されたからの反響はどうでしたか？
当時「俳句で綴る自分史」は珍しかったようで、勤めていた県庁の仲間や知人に配ったところ、関心をもって見てもらったようです。

今回出された第二句集「左手の手記」の出版の動機は？
「打水の夢」を出版した年の8月、脳梗塞のため三度目の入院をしましたが、その時は、右半身が不随になりましたので、さすがにもう駄目だと

思いましたね。リハビリを重ねて、どうにか左手で文字も書けるようになり、担当医からの助言もあって、パソコンも訓練しました。
それから句もだいぶ書き溜まりましたので、出版することになりました。私にとって、この本は、闘病日記であり、左手で書いた手記でもありません。

大塚さんにとって、俳句とは？
そうですね、「生きている証」ですかね。俳句をやめたときは、死が近づいたときで

しょうか。それぐらい大好きです。もう生活の一部になっています。

今後第三句集の出版は考えていらつしやいますか？
どうでしょうか…。でも、これからも書き続けていこうと思っていますので、また、まとまったら出版するかもしれませんね（笑）。

今は週に7句の作品を、通っているデイ・ケアの掲示板に貼りだしてもらおうのが楽しみになっています。

闘病生活も奥様と二人で乗り越えてこられて、海外にいらつしやるお孫さんの話を目を細めてされている姿が印象的でした。
これからもお二人仲良く、第三集目指して頑張ってください。



故郷を亡き父と共有した本。

生前、長年に亘りまとめてこられた宮地区の歴史を一冊の本に

「遺稿集 佐世保市宮地区 歴史散歩」

中島雄俊さん

2006年2月8日発行

故郷を二人で共有した気持ちになりました。

どんな方に見ていただきたいですか？

出来るだけたくさんの方に読んでいただけたら嬉しいですね。特にこの宮村を故郷としている方に…。

最後にこの本を欲しい方は、どうしたらいいですか？

長崎・佐世保の主要書店に問い合わせさせていただくか、ゆるり書房までご連絡ください。

中島さんの長女で、この本をまとめられた河本令子さんは、お父様のお話を懐かしそうにされています。

宮村の歴史に興味がある方は、ゆるり書房(TEL095・828・1790)までお問い合わせください。

河本令子さん

今回の出版動機は何ですか？

私の父が生前、故郷の佐世保宮地区の歴史をこつこつと調べておりました。本当は存命の内に本にしてあげたかったのですが、なかなか私自身も仕事をしております忙しい日々を過ごしております。今年で父が生誕100年に



故 中島雄俊さん

お父様はどのような方でしたか？

目目の年に出版してあげるのが私の使命だと思ひ、弟妹にも相談いたしました。丸2年がかりでやっと仕上げました。

なりません。ちょうど13回忌にもあたり、この節

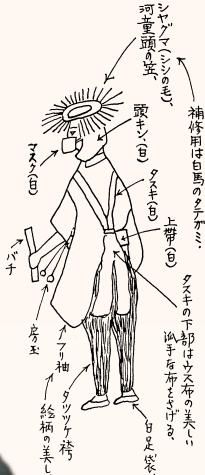
そうですね、父は、故郷の宮村をとて愛しておりました。几帳面で、何でも書き留める人でした。仕事をしている年代は、ひたすら資料収集に努めてましたね。語り部の方々とも交流があり、宮村の風習などを聞き詳細にメモをとっていました。宮村は、古い風習がたくさん残っている地域でもありましたから…。

本の内容は？

大きくは三つに分けられております。

一つは、宮地区の歴史散歩、二つめは、宮村史談、三つめは、白竜夜話です。

浮立のことも父自身が書いたイラストを入れながら、詳しく載せています。



出版に際してどんな事を留意されましたか？

一番には、父が亡くなったからの作業になりましたので、わからないところがたくさんありました。難しい字もあつ

て、読み方もわからず、漢和辞典を片手に奮闘いたしました。でも、この本を通して、父との対話が出来たような気がいたします。生前の父は、いつも机に向かっていて、あまり感情の起伏もみることがありませんでした。いろいろな資料をまとめていますと、父

が感動して泣いた事などが記してあり、



New!

近刊 紹介

サロンのゆるり
出版協力の
自費出版本。



グラウンド・ゼロからの再生

長崎県平和運動センター単産被爆者協議会連絡会議 被爆60周年・証言集)

価格 1,000円(税込)

被爆60年を迎え、長崎では若い世代が、自分達が直接被爆体験を聞くことのできる最後の世代だという自覚で継承活動に力を入れ、核廃絶資料として出版。

判型 B 5 判
ページ 300 頁
並製本



歌集 空への梯子

西岡 洋子(あすなろ社)

価格 2,000円(税込)

短歌を詠むことに最も理解し、応援してくれた亡き夫と、父を亡した悲しさに耐え、前向きに頑張ってくれた二人の娘さんに感謝を込め、古稀を記念して出版。

判型 B 6 判
ページ 198 頁
並製本



続 甦る五島の風土

的野 圭志

価格 3,500円(税込)

第一集「甦る五島の風土 - 昭和30年代の福江島 -」を出版されて7年。第二集は昭和40年代から50年代のフィルム約26,000枚の中から、今は失われた30年前の島の風景、伝統行事などが甦る写真集。

判型 B B 判変形
ページ 184 頁
並製本



最近のリスクマネジメントと保険の展開

赤堀 勝彦

ISBN4 916159 15 2

価格 2,625円(税込)

現代は、交通事故をはじめ、火災・爆発・台風・地震といった災害や環境破壊・汚染など、経済社会の進展に伴い、我々の日常生活を取り巻くリスクが多様化し、複雑化してきている。こうした最近のリスクマネジメントの動向とリスク移転手段としての保険についてまとめた書。

判型 A 5 判
ページ 194 頁
上製本



書作品集 青花

田代 俊嶽(硯遊書道会)

非売品

訪中30回記念として、去る平成17年11月、平戸文化センターで「田代俊嶽・澤清圓(父・娘)書作展」を開催されるにあたり、書道作品および珍藏の硯・文房珍品を図録にして出版。

判型 A 4 判
ページ 120 頁
並製本



歌集 有明海

森光 まつえ

非売品

島原半島の最南端の口之津町に生まれ、幼い頃は、豊峰雲仙岳をはるかに仰ぎ、眼下に有明海を見下ろす愛宕山麓で野兔のようにかけまわり、日暮れまで魚を釣り、小蟹と遊んだ故郷……。それから「欲しがりません、勝つまでは。」の激動の時代を生き抜いて60年。これまでの生き様の一部でもわかれればと思ひ出版。

判型 B 6 判
ページ 136 頁
上製本



山

長崎大学山岳部 - 創立50周年記念誌 -
長崎大学学士山岳会

非売品

発足当時の山岳部は、医学部と経済学部を中心に学部ごとに活動していたが、インターカレッジ(大学体育大会)の当番校となった昭和53年に、医学部を中心に長崎大学山岳部として発足した。

判型 B 5 判
ページ 354 頁
並製本

明治のはじめ、長崎の本木昌造によって活字製造法が發明され、活版印刷で260年ぶりに日本の文字文化が復活したと言われています。

その後、ガリ版・タイプと文字組版の技術が進歩。現在では電子組版による本づくりが主流ですが、昭和40年代になって写真植字機の普及で文字組版が容易になったことで、昭和50年代はじめには、郷土本の出版ブームとなりました。

最近では、歌集・句集・詩集・エッセー・写真集・画集・書作品集・研究誌……など、当社だけでも年間に50冊以上の自費出版のお手伝いをさせていただいています。

その中で近ごろ特に目立つのが、戦中・戦後の激動期を生き抜いてこられ、古稀や喜寿の喜びの節目を迎えられた方が、当時のことを、自分の子どもや孫たちに伝えたいとの想いで綴られる「自分史」の出版です。

「あなたの本」作ってみませんか？



初めて出版される方に

自費出版は、一般の出版社で行う出版とは違い、個人やグループが、営利目的以外で行う出版ですから、その制作費用はすべて個人の負担となります。

しかし、出版する人の希望通りの内容・装幀で、「自分の作りたい本づくり」ができることが、なによりの魅力です。

出来上がった本を、家族・友人・知人に読んでもらえること。なによりも、自分の貴重な体験や人生観を、子や孫の代をこえ、後世にまで残せることが、自費出版の人気の秘密のようです。自費出版は、商品としての本づくりをめざす必要はありませんが、多くの人の目に触れることを考え、原稿執筆にあたっては、他人を傷つけるような表現などには注意が必要です。

また、他の本や雑誌などから文を引用する場合は、必ず出典元や執筆者などを明記し、著作権侵害にならないよう注意してください。

サロン ゆるりでの お手伝い

いまは全国的に「自費出版ブーム」と言われ、中央の出版社の広告を新聞などでよく見かけますが、現在では中央から出版される本に決して見劣りしない立派な本が、地元から沢山出版されています。

私たちがお手伝いさせていただいた本を、当サロンには数多く展示いたしておりますので、ぜひ一度、お立ち寄りください。

また、「サロン ゆるり」では、次のようなお手伝いもいたしております。

- 原稿の整理および推敲・リライト
- 本の構成・編集・デザイン
- 完成本の関係先への頒布
- 県内主要書店（現在15店舗）への取り次ぎ など、本づくりを希望される方が一番気になるのが費用のことだと思いますが、体裁・内容・装幀・出版部数などによって異なりますが、一般的に、A5判 200頁 300部の費用は、約60万円くらいと考えてください。

社会の底辺で虐げられた者たちへの「人間愛」を描き出す

過去から未来を撃つ全身小説家。

のろしはあがらず
のろしはいまだあがらず

碧と緑のコントラストが美しい。
遙か遠くまで美しい海原が見渡せる
小高い丘に、小説家井上光晴の詞が、
こう刻まれている。

西海市崎戸町は、西彼杵半島から大島大橋を介したさらに西の島である。蛎浦島、崎戸島、江島、平島の四つの島から成っており、島の一部は西海国立公園にも指定されるほど、県内でも指折りの景観を持つ。

崎戸は昭和四十二年に閉山するまで、「炭鉱の町」として栄えてきた。しかしその栄華の影には、朝鮮や中国から連行されてきた炭坑夫たちの強制労働の歴史があった。資本主義経済下で脚光を浴びた石炭産業には、正と負の軋轢(あつれき)がある。

昭和三十五年に発表された井上光晴の代表作「虚構のクレイン」はこの崎戸を舞台に炭坑夫の苦悩を鋭く突いている。弱い者、虐げられた者の立場から、社会に対する矛盾を質(た)そうとする思想の根幹は、この崎戸で過(た)した

敷地内の小高い丘に建つ文学碑



していった。

井上氏は文学を志す者を育成するために井上文学伝習所を開校している。激動の過去から未来を撃つその精神を、多くの若い小説家が受け継いだであろう。

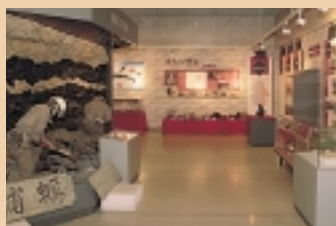
「のろしはあがらず」
「のろしは いまだあがらず」

真つ青な海原を背に群れる廢墟は、美しいようでもあり、もの悲しくもある。「近代日本の隆盛は、この島で苦悩した人々の上に成り立っていることを忘れてはならない」。この丘に立っていると、彼がそう力強く語りかけてくるようである。

多感な少年時代にあると言われる。そしてその後の佐世保長崎での原体験もまた、彼の文学に大きく影響

崎戸歴史民俗資料館

「井上光晴文学室」は、崎戸町歴史民俗資料館の1階。2階が歴史民俗資料館になっており、江戸時代の捕鯨、明治から昭和にかけての石炭、そして現在の製塩など、時代とともに変化してきた崎戸の産業と人々の暮らしを見ることができる。



歴史民俗資料館2階展示コーナー。炭鉱当時のジオラマが忠実に復元されている。



近代日本を支えた産業遺跡は、どれも雑草に覆われてしまった。閉山して38年、歳月の流れを感じる光景である。





井上光晴文学室

文学室には井上光晴の小説原稿や同人誌、顕彰など貴重な品々が展示されており、井上文学を堪能することができます。
TEL:0959-35-2113(崎戸歴史民俗資料館)
開館時間:9時 - 16時30分/入場無料

全身小説家 井上



< 炭鉱の歴史 >

明治40年に石炭採掘開始。大正7年には労働者4000人以上、第二次世界大戦時には、最高8000人の労働者、25000人の町民がいた。昭和43年、炭鉱閉山。



光晴



井上光晴の代表作「虚構のクレーン」昭和35年

SAKITO MAP

とんぼ公園、中戸橋、大高町、崎戸橋、蛸浦島、ウオーターデッキステーション、役場、33(さんさん)元気らんど、井上光晴文学室(歴史民俗資料館内)、さきとRV村、崎戸島、中浦ジュリアン記念碑、遠藤周作文学館

SAKAI City

NAGASAKI City

中浦ジュリアン記念碑

西彼杵半島一円は、遠藤周作が小説『沈黙』の舞台とした外海の遠藤周作文学館(本紙4号で紹介)そして今回紹介した「井上光晴文学室」があることから、「文学ロード」として知られている。また、その途中には天正遣欧少年使節の一員である中浦ジュリアンの記念碑など、多くの史跡を巡ることができる。

井上光晴 いのうえ・みつはる

小説家 詩人 大正15年5月15日 ~ 平成4年5月30日 (長崎県崎戸町出身)

賞 / 年間代表シナリオ賞(昭45年度)
昭和31年上京、「週刊新潮」記者などを経て文筆活動に入り、33年吉本隆明・奥野健男らと「現代批評」を創刊、同誌に「虚構のクレーン」(35年刊)を発表。38年「地の群れ」で作家としての地位を確立。原爆、炭鉱などをテーマとした作品を書き続ける。52年から各地で文学伝習所を開講。他の代表作に「ガダルカナル戦詩集」「死者の時」「他国の死」「黒い森林」「心優しき叛逆者たち」「憑かれた人」などがあるほか、「井上光晴長篇小説全集」(全15巻、福武書店)、「井上光晴作品集」(新作品集)、「第三作品集」(3期13巻、勁草書房)が刊行されている。団体 / 日本芸作家協会

本づくりの現場

編集

editor

集

printing direction



宮田真理子 みやたまみこ

8月生・獅子座 / 今年1月から島原市となった旧南高来郡有明町に生まれ育ち、サッカーで有名な国見高校を卒業後、当社に入社しました。編集(つづ)仕事は本の仕上がりを担当し、本の作り方や、いろいろな事を知っていなければならぬ、大変な仕事ですが、出来る上から、時の達成感や、お客様に喜んでいただけた時などは、とてもやりがいを感じる仕事です。趣味は映画鑑賞と音楽鑑賞で、今一番の楽しみは、5月に長崎にやってくるブルースのライブに行くことです。



Ogata Michiyo

緒方美智代 おがたみちよ

8月生・獅子座 / 昭和41年に入社し、途中、出産、子育てで退職。復職し通算約30年余り編集に携わって参りました。長いこと同じ職種なら随分と仕事にも慣れてとお思いでしょうか、それがなかなかなのです。答えを捜し当てるのが難しいのです。方向性は間違っていないだろうか。ご要望にお応えできているだろうか。一人よがりではないだろうか等、自問自答の毎日です。そんな中で一番の喜びは、なんと申しまして、お客様からお声を頂戴した時です。還暦が近づいている私ですが、また、頑張らねばと思ってしまうのです。団塊世代の一員、迷えるダンゴ頭の緒方でした。付片のんのこも頑張ってます!!

職場紹介

私たちの職場名は「編集」といいます。工程上(ワークフロー)では、お客様と工場との、ちょうど中間に位置します。私たちの仕事は、お客様の希望・要望・意向を多くくみ取り、感じとり、お客様の気持ちを、次の工程で、仕事をする人たちに、うまく伝えていくことです。

頂いた原稿も、お客様にとって大切な情報資産だと考え大切に扱います。原稿の整理をし、なくさないように、全ての原稿に整理番号もふつけていき、大切に保管します。

原稿の種類には、写真原稿、文字原稿、図版の原稿等があります。その一つ一つが違う工程を流れる事になります。ですから、段取りよく流す事も私たちの大きな役目です。原稿を整理し、内容をよく理解してからレイアウトと指示書作成に入りますが、この時に、お客様に電話をさし上げて、自分が担当すること、最後まで責任を持って、仕事を進めさせていただくことを告げます。その上で、内容についてお聞きして、理解をした上で仕事に入るようにしています。

このことは、私たちが今、一番大切にしていることです。そして、今後も続けていくつもりです。

お客様とコミュニケーションをとりながら、より良い商品をお届けできるようにという願いからです。

説明を受けましてから、文字、写真、図版など、デザインを加えながら、レイアウトしていきます。レイアウトした用紙に、いろいろと指示を書きこんでいきます。それが指示書となって、各現場にわたり、何人もの手を経て、最



Kuroda Akemi

黒田明美 くろだあけみ

3月生・魚座 / 会社では、めいっぱいギリギリまで頭脳を使い、帰宅後は家事をするのではなく週回の9人制と4人制のミニバレーで体力を使い、心と体のバランスをきっちりと保ちながら生活を充実させ、リフレッシュし、また新たな気持ちで、仕事に打ち込む日々を送っています。

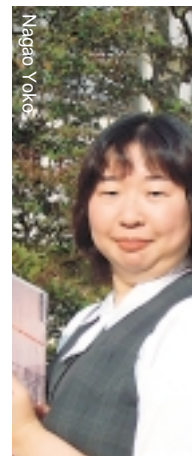


Tou Rina

藤理奈とうりな

2月生・水瓶座 / 私の好きな事は旅行です。山陰の海岸線を鈍行電車で上りながら、島根の出雲大社や、鳥取砂丘。又、合掌造りの集落が広がる白川郷。日本アルプスの連なる上高地を散策した時には、山の雄大さに心を打たれ、それ以来、登山をした先します。入社して6年。温かく楽しい職場の中、本作りのお手伝いさせて頂いていますが、「よう、できとったよありがどう」などといった、お客様からのお声を頂いた時が、嬉しいです。お客様に育てられている自分に気づき、感謝の気持ちでいっぱいになったりします。一度踏み入れると奥深い本作り。今日も奮闘中です!

永尾陽子 ながおようこ



Nagao Yoko

3月生・魚座 / 大村生まれの大村育ち現在も大村から通勤しています。編集では多分No.2の読書好き。休みの前夜、時間を気にせず好きなだけ本が読める時にシアワセを感じます。ミニテラー好きで、島田荘司さん、北村薫さん、宮部みゆきさんのファンですが、川上弘美さん、重松清さんも好きです。書店で装丁に惹かれて衝動買いする事もしばしば。いろいろな知識を吸収しながら、日々の仕事に生かせたらと思います。二人の姪の子には財布の紐が緩くなる馬鹿伯母でもあります。



Hirata Chieko

平田智恵子 ひらた ちえこ

10月生・天秤座 / 図書館と本屋をこよなく愛す年季の入った活字中毒。未読の本を常に3冊キープしておかないと不安になる重度の本依存症。完治の見込みなし。近年自費出版が元気ですが、虚構 好みの傾向にあった私は、正に目くら鱗状態。面白いんです。ドラマがあるんです。その人となり、人生に、自分史は奥が深いな...と感動しつつ、お客様の生原稿を捲る幸せを噛み締めながら本作りのお手伝いをさせてもらっています。

細波千恵 さきはち



Sakuma Chie

3月生・魚座 / 編集という部署は、一番最初にお客さまから原稿を預かること。責任制作担当制度で1人の担当者が最後まで責任を持って制作することも重要な部署です。すくなくビジュアルではありますが、最後まで気持ちよくお客さまとの関係を築いていけるように日々勉強です。担当をしているお客さまが、賞をとられると自分のためにもモチベーションが上がります。そして、お客さまからの、ありがたい一言が何より一番の喜びです。

木村今日子 きむら 今日子

12月生・射手座 / 大村から通っています。入社して10年経ちますが未だに朝は苦手なようです(笑)。最近のお気に入りには夜お風呂で本を読むことです。今までたくさんのお客様と出会い私自身も成長する事ができました。これからも皆さまの思い出のお手伝いが出来ればと思っています。お時間があればぜひ会社の方にもお越し下さい。



Kimura Kyoko

最終的に商品になっていくことになり。家造りという、設計図を描く事に、たとえることができます。以上が私たちの簡単な仕事の流れです。

私たちの現状認識とコンセプト

今までの量と物の時代から、その反動もあって、生活のスタイルが本質志向へとパラダイムがシフトしています。「タテマエ」から「ホンネ」へ、「心」へ。画一・規格・大量から、個性・手作り・少量へ。したがって、今までのお客様第一主義では通用しない価値、違う要素が生まれてきています。

その様な認識を持って、お客様の「期待」に込めていくのが私たちの「使命」であり、直接的であっても、間接的であっても、お客様と接する事が大変重要なことだと考えています。

私たちはそのために、一人ひとりが営業マインド・サービスマインドを磨き、その「一人ひとりの思い」を何らかの形にしてお伝えしたいと考えています。そうする事でお客様により近づき、「何か...」「もつと...」などの言葉にならない期待を掴む事ができると思っています。つまり、お客様から「本当に何が望みなのか」を会話の中で掴み、そのことを形にしていく事が私たち最大の使命だと思っています。

私たちがお客様のパートナーとして商品作りのお手伝いをしていくことでお客様に期待感を持ってもらおう。小さな評判をたくさんつくろう...。そう願っております。

私たちが目指すもの

お客様から好かれる、相談しやすい、

気軽に電話をかけてもらえる、

手足になり、また頭脳になれる、

一緒に喜べる、

そんな人に成長したいと、メンバー一人ひとりが願っています。

私たちの一日は、朝のトイレ清掃、部屋の掃除、ラジオ体操で始まり。よろしくお願致します。

5月生・牡牛座 / 編集者が仕事しやすいように前段取りと前準備をする係をしています。写真、図版や文字原稿等を整理したり番号やフセンを付けます。文字入力が必要なもの、変換すれば良いもの、データコンパットの必要なものの手配(FD・MO・CDその他のメモリーメディアは各部署へチェック依頼)も大事な仕事です。メンバーからありがたいと言われることを励みに頑張っています。

廣田信子 ひろた のぶこ



Hirota Nobuko



Matsuda Emiko

松田衣身子 まつだ えみこ

8月生・獅子座 / 昨年1年育児休暇を頂き、12月から復帰。ただ今、仕事と家事と育児に奮闘中。何事にもパーフェクトまではできなくても、自分のできる事は一生懸命がんばってやろうと心がけています。お客様の声をよく聞いて、満足して頂ける仕事を目指しています。今までにやってきた中で、お客様にとってもよくできていました。との言葉を頂いた時が、何よりも嬉しかったです。

神尾裕子 かみお ゆうこ



Kamio Yuko

10月生・天秤座 / 昨年の9月より、自費出版サロンゆるりて本づくりのお手伝いをさせて頂いていました。また発売までには色々ありますが、少しでも喜んでいただけるように、趣味でもある変わった紅茶をお客様にお出ししています。本づくりに興味のある方は是非一度お立ち寄ってください。おいしい紅茶や「下書き」を用意してお待ちしております。

「ゆるり」でお手伝いした本、 県内書店にて好評発売中!!

県内の書店様のご協力で、自費出版本を取り扱っていただけるようになりました。
書店では珍しい郷土の本や研究誌、また、エッセイや自分史の数々を
本屋さんへお立ち寄りの際には自費出版本コーナーをのぞいてみてください!

interview 「ゆるり書房」協力書店のご紹介

メトロ書店【長崎】

〒850-0058 長崎県長崎市尾上町1-1-3 F
TEL095-821-5400

「この街だから、この書店」

アミュプラザ長崎に移転して5年、年齢・性別を問わず幅広い多くの方々に親しまれる書店として日々努めております。

長崎駅に併設する商業施設ですので、他県から来られるお客様も多く、そのような方々にも満足していただきたい、もっといろいろな方々に歴史ある長崎の街を知って欲しいという願いから、メトロ書店では郷土の本を取り扱った「長崎の本」コーナーを設けております。

このコーナーでは、長崎出身の作家の本・長崎に関する本・自費出版の本など多数揃えて展開しており、長崎の頑張る人々たちを応援しています。

メトロ書店にお越しの際は、ぜひ「長崎の本」コーナーにお立ち寄りいただければと思っております。

今後ともメトロ書店をよろしくお願ひ申し上げます。



メトロ書店
高橋美奈子さん

ゆるり書房取り扱い書店一覧

好文堂書店【長崎】
TEL 095-823-7171

メトロ書店【長崎】
TEL 095-821-5400

紀伊國屋書店【長崎】
TEL 095-811-4919

くさの書店【長崎】
TEL 095-847-5782

明光堂書店【長崎】
TEL 095-839-8500

ブックス読書人【長崎】
TEL 095-823-4010

金明堂書店【佐世保】
TEL 0956-22-4214

博文堂書店【佐世保】
TEL 0956-22-6311

大島文陽堂【諫早】
TEL 0957-22-0380

ブックマート諫早【諫早】
TEL 0957-26-6811

オックスフォード【諫早】
TEL 0957-26-3477

たらみ書店【諫早】
TEL 0957-43-2597

長崎書店【大村】
TEL 0957-52-2862

ながせや【島原】
TEL 0957-62-5274

永田書店【波佐見】
TEL 0956-85-3065

(2006年2月現在)

サロンゆるりでも、 本を販売してます!

この情報紙でご紹介した本や、左記のゆるり書房取り扱い本は、サロンゆるりでご購入いただけます。また定価表示のないもの(販売を目的としていない自費出版本)につきましても、著者の方へのお取り次ぎをいたしております。どうぞお気軽にお問い合わせください。



サロンゆるり内 新刊コーナー



自費出版サロンゆるり
〒850-0875 長崎市栄町6-23
昭和堂ビル2F

TEL.095-828-1790
FAX.095-823-8740

株式会社昭和堂

サロンゆるりの取扱い本一覧

タイトル	著者	定価
諫早を歩く	山口 八郎	850円
もう一人の少年 使節ドラード	青山 敦夫	1,200円
西陲騎葩(せいすいきは)	邑上 益朗	2,800円
九州の石橋(前編)		1,500円
九州の石橋(中編)	山口 祐三	1,300円
九州の石橋(後編)		1,100円
ドミニカ共和国の 人と自然	宮田 彬	3,150円
諫早地方の風土	諫早史談会	5,000円
諫早史談	諫早史談会	600円
諫江百話	諫早史談会	2,000円
諫早史談の年輪	(株)昭和堂	2,000円
諫早文化の年輪	(株)昭和堂	2,000円
島原ぢゃんば	渋江 鉄郎	1,950円
島原一揆	渋江 鉄郎	1,400円
眉山ものがたり	渋江 鉄郎	980円
島原ばなし	渋江 鉄郎	1,280円
島原秘話	渋江 鉄郎	1,400円

タイトル	著者	定価
島原魂	渋江 鉄郎	1,900円
島原城の話	渋江 鉄郎	1,480円
長崎～江戸 歴史街道を歩く	餅田 健	1,000円
たゆたう(二)		1,000円
たゆたう(三)	松本 風作	1,000円
最近のリスクマネジメントと 保険の展開	赤堀 勝彦	2,625円
さすがだね長崎	長崎県 スポーツ科学	1,200円
今、地球があぶない	大坪 敬一	1,000円
命のすじみち すすむ道	緒方 源信	700円
共存の心やわらぐ 長崎の街	緒方源信	700円
被爆	恵の丘原爆ホーム	1,000円
ながさき曼陀羅	中尾 杏子	2,000円
原爆の話	出口 輝夫	1,890円



ここでご紹介する出版本は、県内の書店にて取り扱っております。もし手に入りにくいようでしたら右記のサロンゆるりまで、お気軽にお問い合わせください。

P / R / E / S / E / N / T

読者プレゼント

今号でご紹介した、ゆるり書房出版協力の本を著者のご厚意により、プレゼントいたします！
どうぞふるってご応募ください！

2名様



①遺稿集『ひとりごと』
正木幸子さん著

2名様



②歌集『干潟曼陀羅』
渡邊謙二さん著

2名様



③歌集『万里の風』
中川美苗さん著

2名様



④俳句『左手の手記』
大塚敏郎さん著

2名様



⑤遺稿集
『佐世保市宮地区 歴史散歩』
中島雄俊さん著

《応募方法》

上記の中からご希望の本の番号・タイトルを明記し、住所・氏名・年齢・電話番号、それに情報紙『ゆるり』のご感想などご記入の上、ハガキ又はファックス・Eメールで、右記あてにご応募ください。

なお、ご希望が多い場合は抽選とさせていただきます、当選者の方は次号の紙面で発表させていただきます。

応募締め切り ▶ 平成18年2月28日(火)まで

当日消印有効

《応募の宛先》

〒854-0036 長崎県諫早市長野町1007-2

株式会社 昭和堂
「ゆるりの本プレゼント」係まで

FAX 0957-22-6690 E-mail:yururi@showado.co.jp

個人情報について 読者プレゼントで応募いただく際の住所・氏名等の個人情報は、プレゼントの発送以外で使用することはありません。

6月から
ON AIR!
長崎1233khz

毎週金曜日「よしこのきいてモーニング」あさ10時40分～
『心の杜ゆるり 私の本作り』放送中!



本づくりのあれこれを
朝のNBCラジオでトーク。
8月からは著者の方がゲスト出演も!

寄川アナと当社のサロンスタッフによる、本作り番組『心の杜ゆるり 私の本作り』が放送中。サロンゆるりのご紹介はもちろん、本作りの素朴なギモンに丁寧に答えしています。また、8月からは実際にゆるりで本を出版された著者の方々をゲストにお迎えして、寄川アナと著者の本作り談義も始まりました。朝のあわただしい時間、寄川アナの心あたまるトークで、ホッと和んでみませんか?



NBC 周波数	長崎:1233khz	諫早:1233khz
	佐世保:1098khz	福江:1431khz
	平戸:1062khz	島原:1233khz

佐賀:1458khz 唐津:1458khz 伊万里:1116khz 有田:1458khz



賑橋電停徒歩2分! 眼鏡橋すぐそば

あなたも、サロンゆるりに
遊びにきませんか!!

できるだけ多くの皆さまにご来店いただきたいから、当サロンはアクセス良好な浜の町にすぐ近い所にあります! 駐車場もございますので、お近くにお越しの際には、ぜひお立ち寄りください。

《営業時間》

平日 あさ10時～よる9時まで
土 あさ10時～夕方5時まで

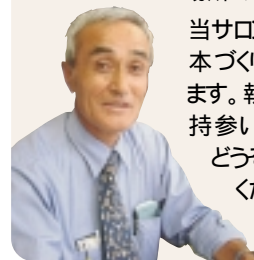
本づくりにまつわるいろんなギモン、
この機会にぜんぶ解決しちゃおう!

本づくり相談会

毎週 土

朝10時～夕方5時
場所/サロンゆるり

当サロンアドバイザーが、本づくりのご相談に応じます。執筆中の原稿をご持参いただいてもOK! どうぞお気軽にお越しください。



当サロンアドバイザー 原口

あなたへ贈る本づくり応援マガジン「ゆるり」

ゆるり 平成18年2月10日発行
第6号【冬号】 年4回発行(1月・4月・8月・10月)

サロンに関するお問い合わせは

自費出版サロンゆるり

〒850-0875 長崎市栄町6-23 昭和堂ビル2F

TEL.095-828-1790 FAX.095-823-8740

制作/発行 株式会社 昭和堂
〒854-0036 諫早市長野町1007-2
TEL.0957-22-6000 FAX.0957-22-6690

活字での本作りは高価につくため、一般の人が自分の本をつくるということはなかなか困難でしたが、昭和40年代に入り写真植字機による文字版組が普及し、安価で本づくりができるようになり、昭和50年代にはいると郷土色豊かな、いろいろなジャンルの自費出版がなされるようになりました。昨年、戦中・戦後の激動期を生き抜いてこられた方々が古稀や喜寿の記念にと、これまでの軌跡をいろいろな形で書き記した自分史などの自費出版が、当社だけでも数十冊出版され、その中で俳句・短歌・エッセー部門で、毎年行われる長崎県文芸協会の審査で四人の方が協会賞を受賞されました。今年も、「自分の本づくり」の素晴らしさを、一人でも多くの方に知っていただき、そのお手伝いができることを願っています。

